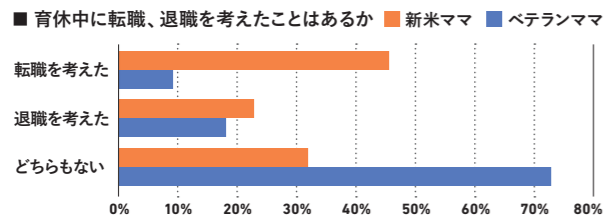




「親になるといふことはどういふことなのか」をよく考える機会を与えてほしい」「夫も子どもが生まれたら残業しない制度」「子どもが3歳になるまでは飲み会に呼ばない制度」「男性の育児休業の義務化」「国が半強制的に時短を男女平等に取るように推進」「定時帰りが許される風土」。ベテランママたちからも「父親をサポートする取り組み、仕組みが必要」「女性だけが長い育休を取得する社会から脱却しなければ、いつまでも男性偏重社会から卒業

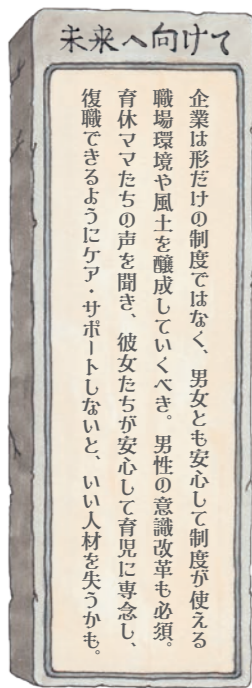


「新米ママラボ」実施：2022年10～11月 調査対象：新米ママラボ会員22人回答 アンケート 調査法：オンラインアンケート
「育児休業と復職について」実施：2022年11月 調査対象：女の欲望ラボ会員22人回答 アンケート 調査法：オンラインアンケート

「不安よりもチャレンジ。絶対に将来人として大きくなれる」「育児を理由に諦めないで。子どもにとっても人生の

ベテランママから新米ママへ伝えたいこと

「不安よりもチャレンジ。絶対に将来人として大きくなれる」「育児を理由に諦めないで。子どもにとっても人生の育休中にスキルアップの資格取得やセミナーを受講するママたちも何人かいました。昔は転職や退職などを考えるママは少数派でしたが、今の女性にとって育休とは、一度立ち止まり人生を考え直す時間でもあるようです。

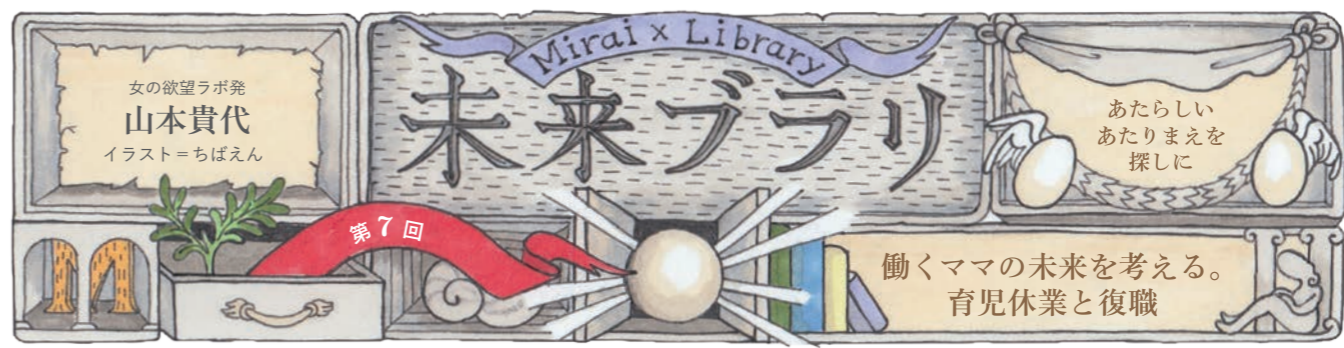


先輩として自信を持って生きてほしい」「絶対なんとかかなるから、仕事だけは辞めちゃだめ。困ったら声をあげて。その声を聞いてくれる人は必ずいます」「自分の理想にこだわりすぎないで」「仕事も育児も適当を目指して頑張つて」「自身の仕事は、あなたの子どもの未来づくりに必ず貢献します」。育児に奮闘しながら、いろいろと思う新米ママに対して、仕事も育児も乗り越えてきたベテランママたちからは、たくさん熱いメールが送られてきました。復職後も、ママたちが不安なくいきいきと働ける世の中になることを願ってやみません。やまと・たかよ



「スキルアップ」「資格取得」「英語」「プログラミング」
育休中は人生設計タイム

「スキルアップ」「資格取得」「英語」「プログラミング」
育休中は人生設計タイム



日常はコロナの蔓延で一変。急ぎ足でやってきた少し先の未来を、欲望・行動・価値観の観点から女性の視点で解説。本音を探るアンケートから、新たな気づきを発見するコーナーです。

育児休業の実態はいかに

この数十年で、働くママを取り巻く環境は激変し、さまざまな育児支援制度が整いつつあります。しかし、前回の調査で、制度が整ってもなかなか妊娠が言いだせない現状があったように、ママたちにとって、本当に働きながら子育てしやすい世の中が変わってきているのでしょうか。社員が安心して育児休業（以下、育休）を取り、復職できる環境を企業側はどう作っているのか。今回は、新米ママた

ちには育休の現状と復職への思い、それを受けたベテランママの意見も併せて調査しました。

まず、仕事から離れ初めての育児に奮闘する新米ママたちに、育児の「大変さ」について聞くと、「目が離せない」「離乳食」「夜泣き」がベスト3で「自分の時間が取れない」「仕事との両立が大変」（何人かは仕事復帰済み）と続きます。育休の日々は、思っていたものとは違ったという人が半数以上。「もつとゆつたりと過ごせると思っていた」「休暇というけれど休暇じゃ

なかった！」。これは今も昔も同じでしょうか。

夫の育児協力に対する妻の本音は

では、夫の「育児関与具合」についてはどうでしょう。新米ママは、不満はない（ない＋どちらかといえばない）が73%ですが、ベテランママは52%でした。昔よりは、夫は育児に関与しているのでしょうか。でも、実際、育休を取った夫は全体の4割程度。制度はあるのに、男性にとっては取りにくい休みのようです。内訳を聞けば、8ヶ月育休を取って夫婦ともに仕事復帰した人は1人、あとは「2ヶ月（3人）」「1ヶ月（2人）」「1週間（1人）」「5日間（1人）」「退院後数日（1人）」。取り方は、制度を利用したり有給休暇を消化したりとまちまちでした。「負担は軽くなりました。わからないことを一緒に考えてくれたことがよかった」とは夫が1ヶ月育休を取ったママの弁。けれど、まだまだ妻任せの夫が多いようで、「理想の夫の育児協力」について聞

くと、さまざまな思いが噴き出てきました。「協力ではなく、同じ熱量で育児に参加してほしい」「育休をとっている私が全てやると思わないで」「言わなくてもやること！」「自分の欲求より親の役割を優先して」「おっぱい以外全て代わりを務められること。妻の育休中も家事育児を自分事として認識すること」などなど。男女平等社会の理想の育児は「どちらも主体」。どうやら夫の意識改革も課題のようです。

復職時に、こんなサポート制度があったなら

そんな中、ママのストレスを軽減し、夫と理想の育児をしていくためには、国や企業はどんな制度を作ればよいのでしょうか。「夫たちにまずは